

宇都宮工労災防止セミナー

30人が安全意識を高める

日工経 2019.11.7



建災防講師によるセミナー

宇都宮市管工事業協同組合（和田均理事長）は5日、平出工業団地の管工事会館で労働災害防止に関するセミナーを開催した。組員30人が参加し、建設業労働災害防止協会安全管理士の瀧谷健二氏による講習を受けた。

講習を前に和田理事長は「台風による復旧や防災減災対策で工事量が増加し、労働災害の発生が懸念される。労災は基本的な安全管理を疎かにしたことによる起因する。講習内容をそれぞれの会社に持ち帰り、労災撲滅に向け率先垂範してほしい」と対策の一層の強化を呼び掛けた。



和田理事長

瀧谷氏は「不安全行動を災害にしないために」をテーマに講演し、互いに一声かけ合うことの重要性を指摘。また、外国人労働者に対する安全教育、フルハーネス型安全帯の適切な使用方法と購入割り引き制度、全面改訂を行った建災防統一の安全標識について紹介した。